

仕様書

1. 件 名 郵便料金計器のメンテナンスリース
2. 数 量 1 台
3. 目 的 量子科学技術研究開発機構（以下「QST」という。）千葉地区における郵便発送業務等を円滑に実施するため、郵便料金計器のメンテナンスリースを行う。
4. 賃貸借期間 令和 8 年 4 月 1 日～令和 1 3 年 3 月 3 1 日
5. 納入・設置場所
千葉県千葉市稲毛区穴川四丁目 9 番 1 号
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
本部棟 1 階 千葉管理部庶務課（A-104）
6. 納入条件 据付調整後渡し
7. 仕様・性能
以下の性能を満たすこと。
 - ① 日本郵便株式会社指定製品であること。
 - ② 本体機器寸法が幅 700mm×奥行 400mm×高さ 300mm 以下であること。（キャッチトレイを含む。）
 - ③ 本体重量が 10 kg 以下であること。（7kg 電子スケール部分を含む。）
 - ④ 本体にタッチパネル形式のディスプレイを有し日本語表示であること。
 - ⑤ 印字方式はワンヘッドのインクジェット方式で、鮮明に印字できること。
 - ⑥ 印影複製防止の為、1 プリントごとに通し番号及び乱数が印字されること。
 - ⑦ 郵便物をセミオートでフィードし印字できる機能を有すること。
 - ⑧ 曲がって挿入された郵便物に対しては印字を行わない機能を有すること。
 - ⑨ 郵便物に直接郵便料金を印字でき、厚みのある封筒や小包郵便物用にラベル発行が可能であること。
 - ⑩ 25 以上の部門を設定でき、部門別に集計する機能を有すること。
 - ⑪ 7 kg 電子スケールを装備していること。
 - ⑫ LAN 機能により残額補充やソフトウェアの更新を行えること。
 - ⑬ 毎分 65 通程度の印字処理が可能なこと。
 - ⑭ インクカートリッジの交換が簡便に行えること。
8. 保守内容

- ① 年に1回以上定期点検を実施することとし、実施日は事前に QST と協議すること。点検実施後は報告書を提出すること。
- ② 故障の際には速やかに修理を行うこと（原則として平日 9：00～17：00）。修理実施後は報告書を提出すること。
- ③ 郵便料金改定時、料金プログラムのアップデートを行うこと。アップデート実施後は報告書を提出すること。
- ④ 機器仕様を満たすために必要と考えられる保守業務を行うこと。
- ⑤ 上記に係る部品費用及び作業費用等は、全て契約金額に含めること。

9. 提出図書

1) 納入時

- ① 取扱説明書 1部
- ② 納品書 1部

2) 故障時または郵便料金改定時

- ① 8項にかかる報告書（実施月に限る、1部）

10. 検査条件

1) 納入時

5項に示す納入場所に据え付け調整後、リース機器が所定の要件を満たしていること及び提出図書の確認の合格をもって検査合格とする。

2) 毎月

機器仕様及び保守業務内容が所定の要件を満たしていることの確認をもって検査合格とする。

3) リース期間満了後

リース期間満了後、リース機器の撤去を含めた必要な業務がすべて行われたことの確認の合格をもって検査合格とする。

11. 契約不適合責任

契約不適合責任については、契約条項のとおりとする。

12. グリーン購入法の推進

- ① 本契約において、グリーン購入法（国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律）に適用する環境物品（事務用品、OA機器等）の採用が可能な場合は、これを採用するものとする。
- ② 本仕様に定める提出図書（納入印刷物）については、グリーン購入法の基本方針に定める「紙類」の基準を満たしたものであること。

1 3. 協議

本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、QSTと協議のうえ、その決定に従うものとする。

1 4. その他

- ① 設置・据付、セットアップ、日本郵便株式会社への登録申請及び既存機器（ピツニーボウズ DM400C）の廃止手続き等、本契約によるリース機器の運用開始に必要な手続きについては受注者負担で行うこととし、その際に生じた梱包材等の不要品は受注者において撤去するものとする。
- ② 受注者は、リース機器の納入日時を事前に QST と調整し、賃貸借期間の開始日から QST がリース機器を利用できるよう努めること。

（要求者）

部課（室）名：千葉管理部庶務課

氏 名：中 禎弘